

世界セレクトティブ株式オープン 世界セレクトティブ株式オープン（年2回決算型）

下落リスクの抑制を重視した運用手法

2020年3月11日

※投資対象ファンドの委託会社であるノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社の提供するコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。「世界セレクトティブ株式オープン」（2019年4月17日設定）および「世界セレクトティブ株式オープン（年2回決算型）」（2020年2月3日設定）の足元の運用状況、今後の運用方針、下落リスクの抑制を重視した運用手法等についてお知らせいたします。

お伝えしたいポイント

- コロナウイルス感染拡大に伴う短期的な市場への影響を注視しつつも、質の高い企業への厳選投資と下落リスクの抑制という運用方針は一貫して継続
- 下落リスクを抑制するため、「資産を守る仕組み」を組み込んだ運用
- 類似運用戦略ファンドでは、過去のショック時に下落幅を大きく抑制

市場動向、運用状況、今後の運用方針

I 足元の市場動向

2020年2月下旬以降、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、世界経済に与える影響への懸念が高まっています。3月3日にFOMC(米国連邦公開市場委員会)の臨時会合で0.5%の緊急利下げが行われたものの、投資家心理の回復には至らず、市場はリスク回避姿勢を強めています。

こうした中、ファンドのパフォーマンスは、2月21日と3月6日を比較すると12.7%の下落（世界セレクトティブ株式オープン）および10.9%の下落（世界セレクトティブ株式オープン（年2回決算型））となりました。同期間、参考指数である代表的な海外先進国株式指数（円換算）は14.4%の下落となりました。

なお、世界セレクトティブ株式オープン（年2回決算型）の下落が世界セレクトティブ株式オープンより小さくなったのは純資産総額に対して大きい資金流入が継続したため、現金比率が相対的に高かったことが要因です。

※参考指数はMSCIコクサイ指数（税引後配当込み、円換算）を使用しています。

3月6日時点の運用状況

「世界セレクトティブ株式オープン」の運用状況

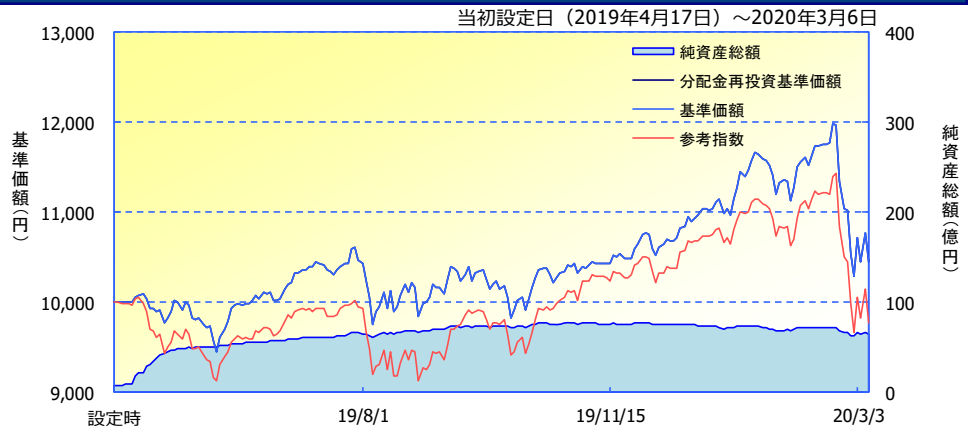
「基準価額・純資産の推移」

2020年3月6日現在

基準価額	10,448 円
純資産総額	64億円

期間別騰落率

期間	ファンド	参考指数
1か月間	-9.6 %	-11.8 %
3か月間	-1.8 %	-5.3 %
6か月間	+0.5 %	+0.9 %
1年間	----	----
3年間	----	----
5年間	----	----
年初来	-6.2 %	-9.7 %
設定来	+4.5 %	-2.2 %



「世界セレクトティブ株式オープン（年2回決算型）」の運用状況

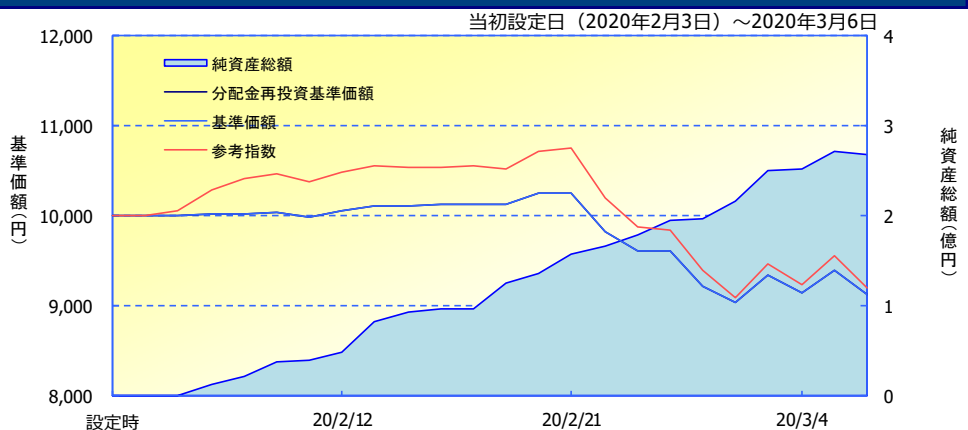
「基準価額・純資産の推移」

2020年3月6日現在

基準価額	9,129 円
純資産総額	267百万円

期間別騰落率

期間	ファンド	参考指数
1か月間	-8.9 %	-11.8 %
3か月間	----	----
6か月間	----	----
1年間	----	----
3年間	----	----
5年間	----	----
年初来	----	----
設定来	-8.7 %	-8.0 %



※参考指数はMSCI コクサイ指数（税引後配当込み、円換算）です。

※MSCI コクサイ指数（税引後配当込み、円換算）は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考のため掲載しています。

※グラフ上の参考指数はグラフの起点時の基準価額に基づき指数化しています。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。

※MSCI コクサイ指数（税引後配当込み、円換算）は、MSCI Inc.の承諾を得て、MSCI コクサイ指数（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに、大和投資信託が計算したものです。MSCI コクサイ指数は、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

■ 今後の運用方針

新型コロナウイルスをめぐる問題を慎重に注視しています。世界中で感染が拡大していることから、株式市場に与える影響についての不確実性が高まっていると考えています。一部投資家の混乱や経済活動の一時的な停滞により、短期的には市場の変動性が高まり、特に問題の影響を受けやすい企業の株価は大きく下落する可能性があるかとみています。

ポートフォリオ運営の観点では、保有銘柄に対する短期的な影響に注視しつつ、長期的な事業見通しがプラスであるということに変更はありません。つまり、長期的には、この問題が現在の保有銘柄の本質的な価値に大きな影響を与える可能性は低いとみています。ポートフォリオ全体としては、市場との連動性を8割程度以下に維持しており、こうした局面では下値抵抗力を発揮するものと信じています。

持続可能な競争優位性「エコノミック・モート（経済の堀）」を持つ国際優良企業に厳選投資（20～40銘柄）する運用方針は一貫したものであり、今後も継続していきます。引き続き、質の高い企業への厳選投資と下落リスクの抑制という運用方針に基づき、中長期的な観点で高い投資成果を追求してまいります。

マゼラン・アセット・マネジメント
運用責任者
ハーミッシュ・ダグラス



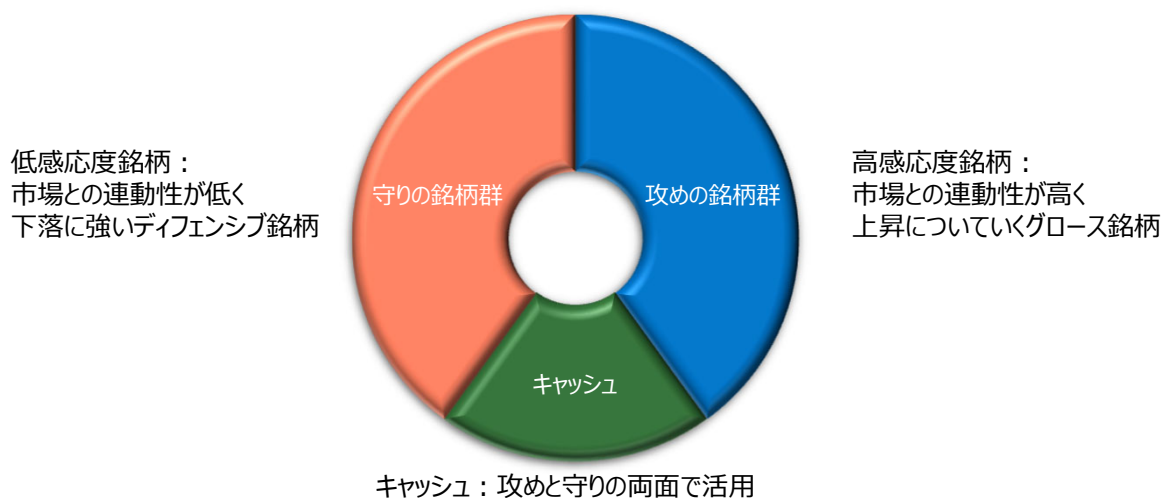
短期的な不透明感の高まりから「資産を守る仕組み」

市場との連動性を常に8割程度以下に維持

新型コロナウイルスをめぐる問題で、株式市場は変動の大きな展開となっておりますが、こうした短期的なショックが、株式市場にどれくらいの程度と期間で影響を与えるのかを予測することは難しいことです。当ファンドの運用では、短期的なショックが起こりえることに備え、**下落リスクの抑制を重視し、「資産を守る仕組み」**を組み込んでいます。

「資産を守る仕組み」として、当ファンドは市場との連動性を8割程度以下に維持しています。当ファンドは国際優良企業の20～40銘柄に厳選投資を行いますが、**「攻めの銘柄群」**、**「守りの銘柄群」**、**「キャッシュ」**の3つに分けて、市場との連動性を8割程度以下に維持するように、ポートフォリオを構築します。

3つの要素で構成されるポートフォリオ
市場との連動性を8割程度以下に維持



<下落局面>

市場下落の影響を緩和	「守りの銘柄群」と「キャッシュ」が貢献
	低感応度銘柄（生活必需品や公益事業など）の下落幅が、市場より小さいため、ポートフォリオ全体として下落幅を抑制

<上昇局面>

市場の上昇に追随	「攻めの銘柄群」が貢献
	高感応度銘柄（情報技術やコミュニケーション・サービスなど）の上昇幅が、市場より大きいいため、ポートフォリオ全体として上昇に追随

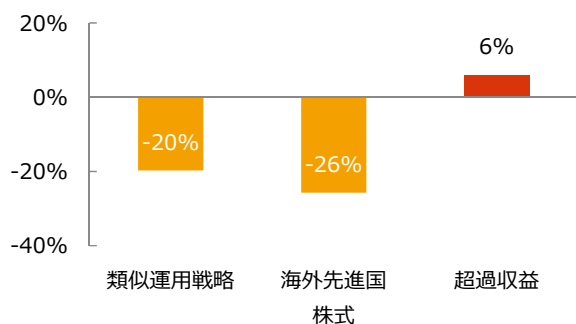
Ⅰ 過去のショック時に下落幅を大きく抑制

市場との連動性を常に8割程度以下に維持するようにポートフォリオを構築していますが類似運用戦略ファンドによる過去の実績*では、上昇も下落も市場の8割程度といったものではなく、**上昇追随率は94%、下落追随率は63%**となっており、**「上昇局面では同じように追随」し、「下落局面では出来る限り追随を回避」**するといった成果を達成してきました。

株式市場の過去のショック時においても、類似運用戦略ファンドは下落幅を抑制し、超過収益を獲得しており、ショック時における下値抵抗力が強いことが示されています。

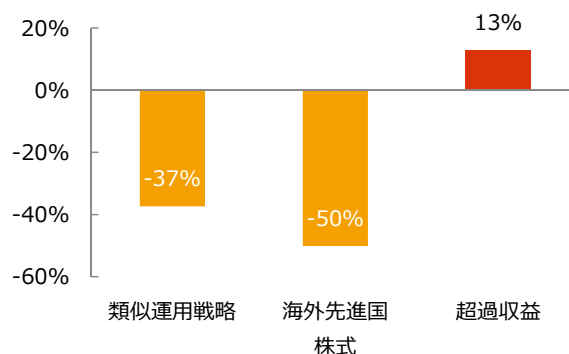
サブプライム問題

期間：2007年6月末～2008年3月末



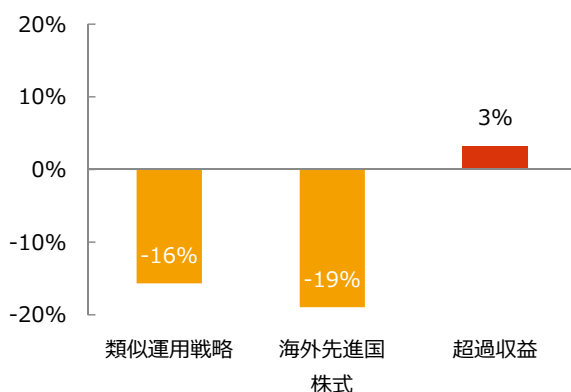
リーマン・ショック

期間：2008年8月末～2009年2月末



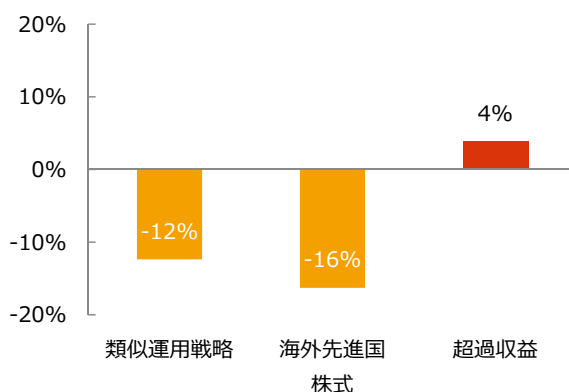
チャイナ・ショック

期間：2015年7月末～2016年2月末



先行き不透明感**の高まり

期間：2018年9月末～2018年12月末



**世界経済の減速懸念、米国の利上げ継続観測、米中の貿易摩擦などを背景に先行き不透明感が高まりました。

*類似運用戦略ファンドの実績について

※類似運用戦略ファンドは、諸費用控除前、円換算。海外先進国株式はMSCIコクサイ・インデックス（税引前配当込み、円換算）。

※各月末の為替レートを使用し円換算。

※追随率の期間は設定来（2007年6月末）から2019年12月末。

※上昇（下落）追随率とは、株式市場が10%上昇（下落）したときに、類似運用戦略ファンドが10%に対してどれだけ上昇（下落）したかを示す値です。

※類似運用戦略ファンドは、あくまでも参考のために記載したものであり、当ファンドの投資対象ファンドである「アンカーMFGグローバル株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」と同様の運用チーム、投資哲学により運用されておりますが、投資制限、運用資産規模などが異なります。

※上記は過去の実績を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

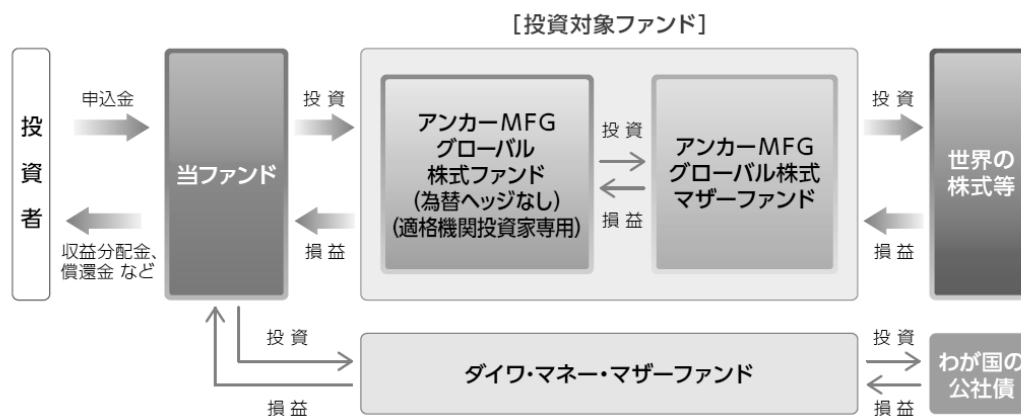
Ⅰ ファンドの目的・特色

ファンドの目的

日本を除く世界の金融商品取引所上場株式等に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 日本を除く世界の金融商品取引所上場株式等に投資します。
(注)「株式等」…DR(預託証券)およびリート(不動産投資信託証券)を含みます。
2. 株式等の運用は、マゼラン・アセット・マネジメント・リミテッドが担当します。
3. 当ファンドは、以下の2本の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、世界の株式等に投資します。



※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

Ⅰ 投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク(株価の変動、リートの価格変動)」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他(解約申込みに伴うリスク等)」

※一銘柄当たりの組入比率が高くなる場合があります。

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 <上限> 3.3% (税抜 3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.1275% (税抜 1.025%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする 投資信託証券	年率 0.825% (税抜 0.75%)	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	年率 1.9525% (税込) 程度	
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

※信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込みには制限があります。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会 一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- 投資信託にはクーリング・オフ制度は適用されません。

世界セレクトティブ株式オープン／世界セレクトティブ株式オープン（年2回決算型） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。